

事務事業名	オートレース場施設改善事業	事務事業No.	426 - 2
-------	---------------	---------	---------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	公営競技事業所	経営管理係	主任	山田 健人	副所長	木村 尊治
施策体系	総合計画	政策	4	地域経済		
		施策	2	地場産業の振興		
		基本事業	6	公営競技事業(オートレース)の円滑な運営		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	小型自動車競走法、小型自動車競走法施行令、小型自動車競走法施行規則、飯塚市小型自動車競走実施条例、飯塚市小型自動車競走実施規則					
事業開始年度	昭和32年度	事業終了年度		継続	事務事業類型	施設維持管理事業
実施手法	一部委託	補助金等の支給		なし	実施計画期間	なし

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	飯塚オートレース場内の施設を改修することによって公正安全なレースを開催するとともに、来場者に快適なレジャー空間を提供する。					
対象	働きかける相手・もの	オートレース場内施設				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	老朽化しているオートレース場施設について、各所改修を行うとともに、今後の施設改善方針の検討を行う。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	来場者に安全で快適な施設を提供するため、適切な改修を行い、今後長期にわたって利用可能な施設とする。				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
施設改善事業費	千円	施設改修工事費等	60,975	39,210	137,805

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
入場者数	人	100,000	150,000	100,000	100,000
説明	方向性	達成目標年度	実績	71,209	79,130
	維持	毎年度	達成率	47.47%	79.13%
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	-	特別会計	特別会計		
予算科目・事業	会計	5 小型自動車競走事業特別会計	款	1 競走費		
			項	3 管理費		
			目	2 施設改善費		
	大	1 施設改善事業費	中	1 施設改善事業費		
				他 1 事業		
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)	
	正職員	1.40 人 11,475	0.80 人 6,247		0.80 人 6,247	
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	会計年度	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
		1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
		2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)		11,475	6,247	-	6,247	
事業費	直接事業費(B)	60,975	39,210		137,805	
	総事業費(A+B)	72,450	45,457		144,052	
直接事業費のうち の主な歳出内訳	施設改善事業費	42,679	39,210		50,701	
	施設改善事業費【政策】	18,296	0		87,104	
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	68,754	40,392		135,482	
	国・県支出金	0	0		0	
	市債	0	0		0	
	一般財源	0	0		0	
	その他(利子・運用収入)	3,696	5,065		8,570	

**6. 事務事業の事後評価★**

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	市が所有する施設であり、包括的民間委託業務契約においても、建築物の補修等、大規模な修繕については市が実施することとしているため。
	目的の妥当性	妥当	オートレースの運営に必要であるため。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	全体的に老朽化し、施設の経年劣化により維持管理上の問題も頻繁に起きているため。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	包括的民間委託業務契約において、1件あたり100万円未満の施設、設備の修繕は包括的民間委託業者が行っているため。
	負担割合の適正化	適正	包括的民間委託業務契約において、大規模な修繕費用等は市が負担することとしているため。
	手段の最適性	最適	全体的な老朽化によって、施設改善方針を策定したうえで計画的に改修を行う必要がある。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	第一スタンド(メインスタンド)の整備工事により、施設の収容人員が制限されていることなどから、目標値を達成することはできなかった。
	上位施策への貢献度	貢献できた	オートレースの開催に必要な施設であり、適宜改修を行うことで円滑な運営に貢献できた。
	事業継続の有効性	ある	公正安全なレースの開催及び来場者の安全のために継続は必要である。

**7. 前年度評価時の計画と実績**

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	平時の施設の維持管理に努めるとともに、包括的民間委託業者、競走会、その他オートレースに携わる関係機関からの意見等を聴取し、施設全体の老朽化した箇所を把握に努める。
一次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	大規模な改善(改修)工事が必要となる案件については、その必要性・緊急性を勘案して計画的に改善を行う。

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

平時の維持管理に努め、関係団体からの意見等を基に老朽化した箇所の把握・リストアップを実施した。老朽化した箇所のうち、今後改修が必要となるものは維持修繕・更新計画に計上し、今後10年間の改修計画を策定した。

**8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★**

【成果】施設改善(改修)計画に基づき各所の改修工事を実施したことで、公正かつ安全なレースを開催するとともに、来場者に安全な施設環境を提供することができた。

【課題】施設全体が老朽化しており、突発的に改善が必要な場合もあることから、老朽化した施設、設備の把握など、一層の維持管理の強化に努める必要がある。

**9. 今後の事業の方向性と改善策**

成果の方向性	拡充				評価区分	事務事業の方向性
	現状維持	④	②	①		
縮小	③	⑤		二次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充	
休・廃止	⑦	⑥				
		休・廃止	縮小	現状維持	拡充	
コスト投入の方向性						

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策  
 平時の施設の維持管理に努め、包括的民間委託業者、競走会、その他オートレースに携わる関係機関からの意見等を聴取し、施設全体の老朽化した箇所の把握に努める。

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策  
 大規模な改善(改修)工事が必要となる案件については、その必要性・緊急性を勘案して計画的に改善を行う。

評価変更理由	拡充すべき成果指標を整理検討することを条件に、一次評価のとおりとする。
--------	-------------------------------------